

伊賀市の文化財 147

三重県指定有形文化財（建造物）  
春日神社拝殿（川東）

三重県指定有形民俗文化財

春日神社雨乞願解大絵馬  
附相撲板番付5点（川東）

春日神社拝殿は、桁行7間（約15・6m）、梁間3間（約7・2m）の大型の拝殿です。本来は檜皮葺であったものを昭和56（1981）年に銅板葺としました。

建立年代の詳細や沿革は明らかではありませんが、天正9（1581）年の織田信長による伊賀攻めでも、焼失を免れたと伝えられています。

その後、江戸時代や明治時代に幾度かの修理が行われ、拝殿は各時代の要素が混在した建物となっていますが、それぞれの時代で修理に関わった人々の努力により室町時代の部材が残された三重県内で最古級の建物の一つとなっています。

平成28（2016）年から始まった解体を伴う修理が令和5（2023）年3月に終了しました。文化財としての価値を残しながら後世に伝えていくため、建造



▲保存修理の終わった春日神社拝殿



▲拝殿に設置された大絵馬・相撲板番付（南から）

文化財課  
☎ 22・96678 FAX 22・96667

物などの専門家の指導を受けながら実施されました。

また、拝殿には神社に伝わる大絵馬や相撲板番付が展示されています。大絵馬は、延享4（1747）年から昭和14（1939）年にかけて奉納された大型額仕立ての13点です。8点に「雨乞願解」などの墨書が見られます。これは干ばつの際に雨乞いを祈願し、その願解に奉納されたことを示しています。

附の相撲板番付は、明治4（1871）年から昭和25（1950）年までの5点が残されています。神社などへ雨乞い祈願のため相撲が奉納されていたことがわかる興味深い資料です。

拝殿の修理を経て大絵馬や相撲板番付も再度掲示されました。

芭蕉翁記念館だより

芭蕉さんの時代には、ひらがなが今よりもたくさんありました。もともと、ひらがなは漢字をくずしてできた文字ですが、江戸時代まで一音一字ではありませんでした。

たとえば、今、私たちが使っている「あ」は、もともと漢字の「安」の字をくずした文字ですが、「阿」や「愛」をくずした文字もあり、さまざまな「あ」を使っていました。

有名な芭蕉さんの蛙の句が、芭蕉翁記念館にある真筆の作品にどのような文字で書かれているか見てみましょう。

古池やかはづ飛込水の音

と書かれています。が、「か」は、「可」をくずした文字、「は」は「者」をくずした文字で書かれています。現代は「か」は「加」、「は」は「波」からくずした文字だけを使っています。

「つ」は見えない形ですが、私たちが使っているひらがなと同じ「川」の字をくずした文字です。なお、当時は濁点をつけないのが普通でした。

芭蕉さんたちが使っていた昔の文字の仕組みを知

【問い合わせ】

○文化振興課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619

○芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219

れば、文字の形としての美しさも味わうことができるのではないのでしょうか。

◆企画展「読みたい！芭蕉さんの文字」

7月1日(出)～9月10日(日)

◆ギャラリートーク

7月8日(出)・8月11日(金・祝)・9月3日(日)

午後1時30分～ ※要入館料

古池やか者川飛込水の音

芭蕉筆「華咲て」等五句発句切  
(芭蕉翁顕彰会蔵)より  
7月1日(出)から27日(休)まで芭蕉翁  
記念館で真筆を展示

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

気づきに気付く ー収税課ー

ある日、洗濯物をたたむ私の隣で子どもが韓国ドラマを見始めた。最初は横目に見ていたのだが、日常の描写や作りこみが緻密で、役者の演技力も高く、とても面白い。一気にその魅力にはまり込んでしまった。

「この俳優さんは日本が大好きで、よく日本にも来てるんやって」という子どもの言葉に、「日本好きって言うても、韓国って反日教育とか受けてるんじゃないの？心底好きかどうか」と私が返すと「いつの時代の話してるん？」と厳しい指摘が入った。若い頃、反日デモや日本製品の不買行動などのニュースを見て、「世界にはこんなにも日本のことを嫌っている人たちがいるんだ」と非常にショックを受けた記憶が、私の中に偏見として残っていたのだろう。

しかし、Z世代\*の子どもたちは、コスメ、美容

や音楽など、何の偏見もなく海外の文化を受け入れて楽しんでいるように思う。

韓国ドラマをきっかけに、自分の中にある偏見に気づき、子どもとも共通の話題に花が咲くようになった。無趣味で何の面白みもなかった日常に楽しみができ、人生が明るくなった。大げさかもしれないが、ちょっとした気づきで人生が変わると感じた。

自分の思い込みや偏見が無意識に人を傷つけていなかったらどうか、他にも間違った思い込みをしていないだろうかと考える。だから、指摘してもらったときは素直に聞き入れよう。反対に、気付いたことがあれば指摘できる人間になろう。自分自身が持つさまざまな思い込みや偏見に気付けるよう、事実を確認することを大切にしながら、互いに指摘しあえる人間関係を築くことから始めていきたい。

\*1990年代後半から2015年頃までに生まれた人

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

IGAMONO セレクション No.39

【問い合わせ】 商工労働課 ☎ 22-9669 FAX 22-9695

忍バームクーヘンは、伊賀抹茶や伊賀忍者たまごなど、良質の地元素材にこだわった抹茶バームクーヘンです。

350度に熱した専用オープンで、一層一層生地を塗り重ね、焼いていきます。焼き加減を究極までこだわり、しっとりふわふわのバームクーヘンを実現しました。

忍者の里の伊賀を代表するようなお菓子になれば。そんな思いを込めて作りました。



忍バームクーヘン



パティスリーサンタ  
中出 耕次さん

豊かな自然と水に恵まれた伊賀の里から、おいしいケーキと夢の時間をお届けします。夢と希望と幸せを運ぶサンタのように。

ゆめが丘にあるパティスリーサンタは、木のぬくもりが感じられるログハウスの洋菓子店です。ショートケーキなどの小物ケーキ、デコレーション

ケーキ、地元の素材を使った焼菓子など店内は甘い香りいっぱいです。四季折々、旬の素材を使用した季節感あふれるお菓子作りをめざしています。

